

かみくげ 恐竜の里新聞

平成26年8月20日

発行 上久下恐竜の里づくり部会

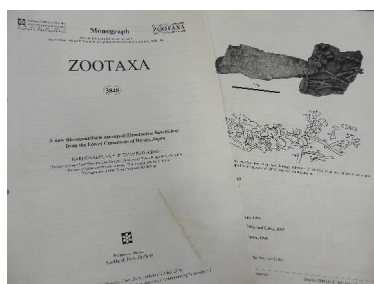
第67号

上久下地域
自治協議会
0795 78 0001

丹波竜の学名が決まる

人と自然の博物館（三田市）は8月12日、丹波竜が新属新種であると断定し、学名を「タンバティタニス・アミキティアエ」と決定しました。2006年8月に発見された丹波竜は8年を経過してようやく学名論文（英文66ページ）が完成し、昨年11月に国際学術誌「ズータクサ」に提出していました。

今年8月初めに学術誌の電子版に掲載されたことをうけて三枝主任研究員から報道関係者に発表がありました。丹波竜は国内最大級（体長約15メートル、重量15トン）の植物食恐竜で、計6回の発掘調査で取り出した大小二万点の化石は1個体の化石としては国内では初めて。このうち約100点の化石を細かく確認し、過去に産出された恐竜化石との違いを学術的に分析した結果、尾椎の形状の特徴などから世界での過去の発見に見られない新種と断定しました。学名のタンバは「産出地の丹波市」、ティタニスは「女の巨人」、アミキティアエは「発見者の友情」を意味し、研究員によって命名されました。現在まで、正式な名前がなく、俗名「丹波竜」として親しまれてきましたが、今後は世界



丹波竜が新属新種と認定され学名が決定しました
タンバティタニス・アミキティアエ
Tambatitanis amicittiae
上久下地域自治協議会

的有名な恐竜の学名に「タンバティタニス」も仲間入りし、世界の多くの恐竜研究者や恐竜愛好者らに「丹波」を知ってもらうことになるでしょう。名前は正直、覚えにくく、発音もラテン語のため難しく感じますが、人間の苗字に当たる「タンバティタニス」で覚えてください。名前の部分「アミキティアエ」は特に覚えなくていいと思われます。新しく学名がついたことは「国際機関に丹波竜の出生届けが名前とともに受理されたと同じで、晴れて一人前になってうれしいことです」。学名決定をうけて、地域ではお祝メッセージ「祝 丹波竜に学名決定」の横断幕（ヨコシメートル）を丹波市観光協会、商工会および山南ライオンズクラブらがスポンサーとなって製作し、地域づくりセンターや下滝駅などに掲げる予定です。

伝統技術を継承

上滝の大野浩二さんが原皮師として、国が認定する選定保存技術の保持者となりました。また太田の慧日寺の5棟が、江戸時代後期から大規模な改修がされず、茅葺や檜皮葺の建物が保存されていることで国の有形文化財に登録されました。上久下地域の伝統的な技術や建造物が国に認められるのは、同じ地域住民として誇らしいことです。

この機会に篠場の村上英明さんから、伝統技術の継承について投稿して頂きました。



公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会（村上英明会長）は、大自然の恵みである植物性資源を生かし、檜皮葺・柿葺・茅葺の伝統的技術を保存、向上させ、将来をになう後継者の養成研修やさらには文化財修理用資材の確保を行い、我が国の文化財保護事業に寄与することを目的としている団体です。

篠場にある山南ふるさと文化財の森センターでは、7月に「主任文化財屋根葺士」検定会を実施しました。この検定会は屋根葺士として10年以上従事し、今後活動する意思があると認められる者を対象とし、実技・座学で合否を判定する大変厳しい制度です。また今年7月から10月まで6回に渡り、茅葺師養成研修（初級）が行われています。

全国から若い職人が参加し、指導者から縄の結び方や茅の並べ方の技や心構えなど、基本的なことを中心に日々研鑽に励んでいます。

また上久下小学校の行事として、9月に同センターで檜皮葺学習（材料整形）が予定されています。この学習には保存会の会員が指導に当たります。この取組は平成7年から19年間も続いていて、檜皮採取・材料整形・屋根葺の3工程を繰返し毎年体験してもらい、他の小学校には無い学習です。

このように当保存会では、広く多くの方に植物性屋根を理解してもらうことができるよう、普及啓発事業を行い、また技術の向上に努め、職人としての資質を更に向上させていきたいと考えています。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成たんば塾を開催



夏休みの子どもの宿題や自主勉強を手伝う「平成たんば塾かみくげ」が7月27日から4日間、地域づくりセンターで開講されました。初日は話し方の勉強「うれしい言葉が自分を変える」と題して、NHK元アナウンサーの村上信夫氏を招いて参加した子どもらに人話す際の心得などを学びました。2日目には、「上久下松風句会」から3名の会員を講師に迎え、書き方教室（文章の作り方）で「みんなで作ろう」を勉強しました。初めてチャレンジする俳句にも参加の子どもたちは身近な出

来事をテーマにして次々と句を作りだし、講師の方々の批評を受けていました。全作品（34句）は地域づくりセンター小会議室の句会会員の皆さんの作品と並んで掲示しています。その他、自治会長会ボランティアの皆さんによる「篠場や下滝にもあった昔のお城の話」などには興味津々に耳を傾け、自主勉強では宿題の仕上げに暑期中頑張っていました。



こども達とグラインドゴルフ大会



上久下老壮会（村岡正廣会長）は7月23日に小学校で、恒例となっている児童との交流グラインドゴルフ大会を開催しました。小学校3年以上の児童19人と老壮会員63人が参加して、混成チームを作り炎天下のなか熱戦を繰り広げ、コーン・カキーンと心地良い音が校庭に響き渡っていました。こども達はシルバーパワーに圧倒されながらも、運動神経の良さを発揮して、老壮会員に負けないスコアでホールアウトできたようです。小学生の部は1位 樋口泰生君、2位 村岡佑哉君、3位 中西帆香さんで、老壮会員の部は1位 大前照夫さん、2位 森田宇一郎さん、3位 宇津知子さんがそれぞれ上位入賞されました。

上久下夏まつりが中止に

8月10日に予定していた上久下夏まつりが、台風11号の直撃によって中止となりました。実行委員の皆さんや、バザー出店予定の各自治会・団体の方々は早くから準備をしておられていたが残念な結果となり、大変申し訳ありませんでした。次年度こそ、完成した「ふれあい広場」の実物大恐竜モニュメントを囲んで、踊りの輪を何重にも作りたいと思っています。また日程についても各自治会と早めに打合せて、地域の皆さんが揃って参加できるようにしたいと思っています。

9月の予定

- ◆ 9月12日（金） 恐竜の里づくり部会例会 午後7時30分
- ◆ 9月14日（日） ふれあい映画会 午後7時30分
- ◆ 9月21日（日） 上久下小学校&地区体育大会
- ◆ 9月25日（木） 自治会長会 午後7時30分